⑶　小田原工場の油倉庫、門外、銀行券印刷機、インキ製造設備、運搬設備及び研磨盤は、設備更新のため、平成30年３月、平成29年６月、平成29年５月、平成29年11月、平成30年１月及び平成30年３月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。

それぞれの施設及び機器の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。

⑷　岡山工場の雑工作物外は、設備更新のため、平成29年８月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。

当該施設の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。

Ⅶ　不要財産の国庫納付に関する事項

１　現物納付を行った資産

①	資産種類		土地	建物 構築物	土地	建物 構築物 工具器具備品	土地	建物 構築物
②	資産名称		神宮前第２宿舎		薬王寺宿舎		払方宿舎	
③	帳簿価額	⑴取得価額	1,131,975,000円	37,178,598円	1,357,583,000円	93,685,895円	696,982,000円	38,705,561円
		⑵減価償却	－円	19,594,978円	－円	45,687,362円	－円	20,415,875円
		⑶減損損失	－円	17,583,592円	－円	47,997,044円	－円	18,289,657円
		⑷損益外減損損失	－円	－円	－円	－円	－円	－円
		⑸帳簿価額	1,131,975,000円	28円	1,357,583,000円	1,489円	696,982,000円	29円
④	不要財産となった理由		国立印刷局宿舎見直し計画に基づき廃止し、自己で活用の見込みがないため		国立印刷局宿舎見直し計画に基づき廃止し、自己で活用の見込みがないため		国立印刷局宿舎見直し計画に基づき廃止し、自己で活用の見込みがないため	
⑤	国庫納付等の方法		現物による国庫納付		現物による国庫納付		現物による国庫納付	
⑥	譲渡収入の額		－円	－円	－円	－円	－円	－円
⑦	控除費用		－円	－円	－円	－円	－円	－円
⑧	国庫納付等の額 納付等年月日	⑴国庫納付額	1,131,975,000円	28円	1,357,583,000円	1,489円	696,982,000円	29円
		納付年月日	平成29年３月24日		平成29年３月24日		平成29年３月24日	
		⑵地方公共団体への払戻額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
		納付年月日	－	－	－	－	－	－
		⑶その他民間等への払戻額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
		納付年月日	－	－	－	－	－	－
⑨	減資額		1,131,975,000円	36,158,044円	1,357,583,000円	91,104,457円	696,982,000円	37,914,542円
⑩	備考							